

アザレアキッズステーション

「あったらいいな…」を実現！ 子どもの遊ぶ姿から保育士が作り出した保育環境

保育環境づくりのポイント

当園で毎日行っている職員ミーティング（キラリ）で取り上げる、日々のエピソードから「これがあれば子どもたちがもっと遊び込めるかも…」「こんなものが欲しいよね…」と各クラスの職員から声があがりました。子どもたちの主体性を尊重するために、より良い環境づくりに挑戦しました！

～こどもたちのこの力を育みたい～

- 感じる・気付く力
- うごく力
- 考える力
- やりぬく力
- 人とかかわる力

取組み内容

プロジェクトチーム発足！！
気合だけは十分です！

アンケートをもとにすぐに改善できる所から取り組みました…



全職員に保育環境についてアンケートを実施

～自分たちで取り組んだこと～

花壇づくり
(自然に触れたい、色水づくりをしたい)



オープンキッチン
(園庭での外遊びがより充実するように)



三角屋根
(子どもたちが登り降りできるように)



順調にプロジェクトが進みましたが…
現実問題難しいことも…

木村先生の研修
第1回 7/29
第2回 11/27
(ワークショップ)

木村先生の研修を経て各クラス具体的な図面を作成！それを元に初心者ばかりの職員で子どもたちのために工具を使ってつくりました！

ジグソー一筋！！！！



身近な大人の真似をして遊ぶ姿が増えた！

第3回 12/5 (振り返り) 身支度をする空間がほしいなあ…
1歳児 (はな組) ～冷蔵庫～



冷蔵庫の開け閉めを喜び、よりリアルなごっこ遊びが増えた！

2歳児 (ゆき組) ～車置き場～

おもまごを充実させたい…

車を収納するスペースが欲しい…

車を並べて数を数える姿が増えた！



おもまごの空間がマンネリ化…

友だち同士のやり取りが増えごっこ遊びが充実！

4歳児 (つき組) ～仕切り扉～

ラキューが取りにくい…片付けに時間がかかる…

集中して遊び込み、片付けも早く綺麗に！

5歳児 (そら組) ～ラキュー机～



<今回の取組みを通して>

子どもの姿から生まれた保育環境づくり。保育者がその姿を共有し、「こんな環境があったらいいな」を実現しました。そこには保育者同士の関わりが深まり、保育へと活かされ、子どもの主体性を尊重した保育へのつながりを実感しています。園長 平町 香織

